京城日報　朝刊　本日朝夕刊共六頁

社説　人種戰の宣傳

一

近代戰が所謂國家總力戰であり、その手段の一つとして米英側が諜報、宣傳、謀略などの謀略戰を盛んに行つてゐることは既に一般周知の如くである。最近米英側が今次の大東亞戰爭を人種戰であると盛りに喧傳宣傳しつゝある事實は此の謀略戰の中でも極めて悪質のものであらう。而してこの人種戰宣傳については過般情報局當局から閣議の席上報告せられ、更に又東條首相は過般の臨時議會における施政方針演說の中でもこれを特に取り上げて簡單ではあるが說明を加へてゐるのである。流石に宣傳謀略戰に長けた米英側だけあつて、如何にも彼らが用ひさうな奸謀目たるを疑はない。おそらくは此の張本人は米國にあらずして英國あたりではないかと思はれるのである。

云ふまでもなく彼らの意圖する所は、この宣傳によつて日本を誣ひ、日獨伊の結盟を切り崩し、攪亂、反樞軸たるとを問はず、世界有色人民族の反感と恐怖を誘發することによつて、日本に對する世界の同情を失はしめようとする。そこが彼らのこの宣傳の狙ひ所であつて、この謀略的宣傳が萬が一にも奏功し得たものと假定した場合を考へると、われ〳〵としてもこれを輕々に看過し難い重大性を包藏してゐるのである。

二

大東亞戰爭の目的が如何なる精神的基礎の上に立つかは戰爭勃發と同時に渙發あらせられた詔書を拜すれば何人にも炳乎たるものがあらう。即ち一言にしてこれを蔽へば八紘一宇の肇國の大精神に則つて、東亞から人類の敵米英勢力を一掃し、正義と公正とを基礎とする世界、即ち少數のある一國の民族ばかりでなく世界全人類の安寧と幸福を圖る新しき世界の再建にあるのであつて、從つてそこには彼らの宣傳するが如き有色人種對白人種の區別、爭鬪のあるべきはずはないのであつて、道義に立脚する樞軸國の結束が、陰險なる米英のかうした策謀によつて碎くも微動だもするものでないことは自明である。にも拘らず彼らが躍起となつてこれを宣傳するところをみれば、警戒するに如何に彼らが今日の敗戰に次ぐ敗戰に焦燥してゐるかを證してあまりあるものであつて、いはゆる最後の足掻きの一端に示すものにほかならない。然しながら如何に窮餘の策とはいひながら、前にも述べた如くこの宣傳は決して等閑に附すべき性質のものではない。若しも我が方においてこれが對策を一歩誤らむか、その結果は非常に重大な響きを世界人類の上に及すものである。

三

されば日本としては人種戰を挑發し、或は白人各國をして日本の眞意と行動を誤解せしむるが如き言動があつては、彼らの思ふ壺に自ら進んで陷るものであつて、例へば公開の文書、公開の演說等をなす場合、特にこの點を注意することが必要である。戰爭の長期化に伴つて、彼らのかゝる宣傳戰が益々激烈深刻化することは論を俟たず、この宣傳戰に對處する國民の心構へも當然十分でなければならないことを強調しておきたい。

東條首相參內

【東京電話】東條首相は二日午後三時四十五分參內、天皇陛下に拜謁仰付られ一般政務につき委曲奏上同四時五十五分御前を退下した

嶋田海相參內

【東京電話】嶋田海相は二日午後二時十七分參內、天皇陛下に拜謁仰付られ所管事項につき奏上、同三時四十七分宮中を退下した

神戸海軍人事部長更迭

【東京電話】神戸地方海軍人事部長高橋一松大佐の轉出に伴ふ海軍人事異動は二日午前十一時海軍省から次の通り公布された

▲海軍省公表　七月一日附左の通り補職發令せられたり

補神戸地方海軍人事部長　海軍大佐　大野功

なほ前任者海軍大佐高橋一松は某要職に補せられたり

最近一ヶ年の對支綜合戰果
遺棄死體、捕虜二十七萬餘
主要作戰二十四回に及ぶ

【東京電話】支那事變勃發してこゝに滿五年、盧溝橋畔に響きわたつた一發の銃聲こそ新秩序建設の發足を告げた號砲であり新秩序萌芽の弔鐘であつたのだ、支那事變は遂に大東亞戰爭へと進展し今や皇軍の輝かしい威武は大東亞を蔽ひ抗日重慶軍は奧地四川に蟄伏し米英勢力また東亞より擊攘せられ支那事變處理は飛躍的新段階に入つた、支那派遣軍は事變第一年においては重慶軍の積極的挑戰企圖を北、中支の戰野に擊碎したが、第二年においては國共合作、武力再編成により米英の援助を賴んでわが綜合力の疲弊を待望し、重慶軍の野望を廣東、武漢の攻略によつて挫折せしめ、續いて第三年は積極抗戰によつて建國の事實を抹殺せんとした敵の反擊を南昌をはじめ支那全域に亘り封殺、第四年には消極的反抗による遊擊攻勢を各戰區において徹底的に叩き潰したのである、しかして支那派遣軍が重慶政權の殲滅を期した最近一ヶ年間の作戰こそ大東亞戰爭の急進展と相俟つて重慶政權に最後の止めを刺したもので、之が對支作戰の綜合戰果は香港攻略戰を除外しても、敵の遺棄死體二十一萬一千八百四、捕虜五萬四千二百九十七、火砲五百六十五門、重輕機二千九百九十二、小銃五萬九千六百二十七および油類一萬五千罐に達する驚異的數字を示してゐる、今こゝに支那全域に亘つて行はれた二十四回におよぶ主要作戰を展望してみよう

一、清鄉工作（中支、江蘇省南部）支那派遣軍は昨年七月一日より揚子江下流三角地帶における治安の確立と國民政府の政治力の滲透を期するため日華兩軍協力のもとに常熟、太倉、江陰、無錫、崑山地區に清鄉工作を展開し四月末までに敵死體六百四十、捕虜歸順等六千八百、火砲五門、重輕機卅三、銃器類二千七百八十を鹵獲

一、新四軍掃蕩作戰（中支江蘇省北部）鹽城、阜寧地區に蟠居する陳毅麾下の新四軍を掃蕩してその地盤を覆滅し一千七百を殪し捕虜二百、投降八百、重機七百を鹵獲

一、晉察冀邊區肅淸作戰（北支河北、山西兩省）昨年八月十四日より行動を開始しまづ冀中南部および豫晉地區の掃蕩を行ひさらに同二十二日には京漢線以西聶榮臻麾下四萬に打擊を與へ大行山脈一帶の赤色根據地を覆滅共產軍六千を斃し三千五百を捕虜とし火砲五門、重輕機五十、小銃二千百を鹵獲

一、第一次長沙作戰（中支湖南省東部、敵第九戰區）薛岳麾下の中央軍二十萬が據る堅固な三百キロの縱深陣地を旬日に突破しその戰力および抗戰組織に大打擊を與へ九月十八日より十月上旬までに遺棄屍八萬、捕虜八千二百、火砲百五門、重輕機一千五十、小銃一萬三千七百を鹵獲した

一、北江および新會西方作戰（南支廣東省）九月中旬より十月上旬にかけて第七戰區を痛擊しかつ新會西方において重慶軍への輸血路を覆滅し遺棄屍六千三百、捕虜七百、火砲四十門、重輕機五十六、小銃二千五百、油類一萬五千罐を鹵獲

一、沁河作戰（北支山西省南部）九月下旬より沁河地區において敵第九十八軍および共產軍を包圍殲滅的打擊を與へ遺棄屍二千、捕虜五千、火砲十門、重輕機百三十、小銃一千二百を鹵獲

一、鄭州作戰（北支河南省北部）十月初旬より大黃河を渡河して敵要衝鄭州に進攻、第一戰區の敵を擊破し遺棄屍五千、捕虜三百三十、火砲五、重輕機八十を鹵獲

一、汾西作戰（北支山西省南部）十月下旬より十一月初旬にわたり絳州西方趙城山脈の南部に蟠居する衛立煌軍を覆滅、禹門口などの黃河渡河點を確保し遺棄屍一千五百五十、捕虜二千二百三十、火砲八門、重輕機八十八、小銃八百二十六を鹵獲

一、陵州地區第二十七軍掃蕩作戰（北支山西省東南部）十二月初旬から下旬にわたり衛立煌軍が范漢傑麾下の第二十七軍を掃蕩し遺棄死體千四百、捕虜四百、火砲六門、重輕機二十一、小銃二千二百を鹵獲

一、皖浙作戰（中支安徽、浙江省）十二月中旬より江南の敵第三戰區に大打擊を與へ遺棄死體二千五百、捕虜二百六十三、火砲二門、重輕機三十二、小銃三百八十九を鹵獲

一、第二次長沙作戰（中支湖南省東部）湖南の要衝長沙を本年一月一日再び奇襲攻略し第九戰區の敵を擊碎し遺棄死體五萬七千、捕虜千九百五十、火砲七十五

一、沁北作戰（中支河南省南部）十一月初旬長沙作戰中わが第一線附近に蠢動してゐた敵第五戰區第十五軍主力を擊碎し遺屍千九百六十四、捕虜九十四、重機十四、小銃百卅八を鹵獲

一、魯南作戰（北支山東省南部）十一月初旬より十二月下旬の二ケ月間に共產軍山東縱隊を捕捉擊碎し遺屍五千二百、捕虜千百五十、火砲五門、重輕機十五、小銃三千五百五十を鹵獲

一、香港攻略作戰（南支）支那派遣軍の酒井部隊は大東亞戰爭勃發とともに英國が多年支那搾取の基地とし、また對日進攻基地とした香港を僅かに十餘日にして攻略

一、太湖周邊掃蕩作戰（中支、江蘇省南部）一月十二日より三月中旬までの約二ケ月にわたり太湖周邊に蠢動する中央軍を擊碎し遺棄死體三千三百、捕虜千三百卅、火砲一門、重輕機四十六、銃機千五百六十を鹵獲

一、惠州地區掃蕩作戰（南支廣東省）二月上旬より惠州附近に攻勢態勢を整へつゝあつた蔣介石軍を掃蕩し遺棄死體五百、銃機八百を鹵獲

一、山東中部作戰（北支山東省）二月上旬より于學忠軍を掃蕩し遺棄死體千五百、銃機六百を鹵獲

一、山西省冬季肅淸作戰（北支山西省）二月上旬より三月上旬にわたり山西省全域にわたり敵軍を掃蕩肅淸し遺棄死體三千五百、捕虜二千七百、火砲五門、重輕機卅八、小銃四千を鹵獲

一、山西西部地區作戰（北支陝西省東部および山西省西部）黃河對岸陝東地區および山西の蔣介石直系軍ならびに共產軍に對し三月中旬より包圍攻擊戰を展開し三月末日までに遺棄死體千六百、捕虜約千六百、火砲一門、重輕機百四十、小銃千百を鹵獲

一、冀南作戰（北支河北省南部）四月下旬より五月中旬までに冀南軍區共產軍および高樹勳軍を捕捉殲滅し遺棄死體六千五百八十、捕虜三千百三十、火砲五門、重輕機四十六、小銃二千九百七十を鹵獲

一、冀中作戰（北支河北省中部）冀中軍區の呂正操麾下の共產軍を包圍攻擊し遺棄死體九千百、捕虜五千二百、火砲門、重輕機六十六、小銃八千四百六十を得同軍區の基盤を覆滅

一、晉冀豫省境作戰（北支）山西、河北、河南の省境に蠢動する劉伯承の率ゐる共產軍及び中央軍を掃蕩すべく五月下旬より行動を起し包圍圈を壓縮しつゝ敵の據點を覆滅し六月十三日まで遺棄死體二千三百、捕虜千百、火砲四門、重輕機四十、銃九百八十を鹵獲

一、浙贛作戰（中支浙江、江西省）我第二次長沙作戰にも匹敵すべき大進攻作戰で第三戰區軍を挾擊殲滅し重慶軍が米空軍と連繫して飛行基地とした衢州飛行場をはじめ空軍基地を、重慶軍が唯一の恃みとしてゐた浙贛ルートを完全に遮斷し六月上旬までに遺棄死體九百二十、捕虜七千五百二十、火砲、重輕機三百七十八、小銃四千四百七十を鹵獲

一、廣東北方および西方作戰（南支廣東省）贛作戰に應じ敵第七戰區に痛擊を與へた

以上の諸作戰によつて重慶軍は今や全く戰力組織を潰滅に瀕し、戰力を低下し各戰區の焦慮は勿論のこと重慶軍の犬し投降歸順者が續出してゐる現狀である

平和かへる皇軍地區へ／奧地より蜿蜒續く棉を積んだトラックの列（陸軍省提供）

官吏減員の資料
政務總監から通達す
五日迄に整備

大東亞共榮圈確立完遂を目指して中央當局ではさきに國內の行政簡素化を表明、その旨各地方廳に指令したが、總督府でもこのほど政務總監通牒を以て行政簡素化に伴ふ減員に關する資料を五日までに提出するやう通達した、中央當局の意向としては中央官廳三割、地方廳二割、現業官廳一割を目標として減員するやう內示してゐるが發展膨脹期にある朝鮮として內示通りの比率が適用出來るか否かは相當疑問視される上に朝鮮の特殊事情の充分勘案されねばならない狀態にあるので、早急減員を斷行するが否かは疑問とされない、總督府では關係官に對しては警務局、地方は司政局といつた方法で相當愼重なる態度で調査資料を提出せしめ、再吟味した結果を中央へ報告するから減員の實際に當つてはなほ相當の變遷をみるものと思はれる

支那事變茲に滿五年
共榮圈に占める大陸の地位（下）

人口政策篇

支那民族覺醒の秋

四千年の歷史と『地代物價』を誇る支那の現實は人も物もあげて建設と破壞の三つに大別されてゐる、この姿は盧溝橋および上海事變の勃發から武漢攻略および廣東の失陷、次で第二次歐洲大戰の勃發、獨ソ戰爭の開戰、さらに大東亞戰爭開始を一つ〳〵の段階として次第に鮮明な色彩を盛りあげて來た、しかもこの支那の樣相を全く決定的なものとしたのは大東亞戰爭による皇軍の赫々たる戰果だつたことはいふまでもないが、そしてめぐり來た抗戰五年の今、北、中、南支の住民は大東亞共榮圈確立の輝かしい一翼を擔つて着々建設に從ひ殘された奧地住民は哦れる抗戰下、光りなき最後の足掻きにいよ〳〵失望の苦悶を深めて行く

喘ぐ抗戰支那農民

抗戰を開始以來四年目の昭和十六年七月七日までの支那軍の遺棄死體三百一萬五千人、捕虜は三百八十萬に上り合せて實に六百萬近い犧牲を算した、これにその後の抗戰五年目の今日までの犧牲を加へるならば優に七百萬を算するであらう、國民の約八割が農民であり封建國家である支那においてこれら犧牲者は殆ど總てが農民中最も生產力旺盛な青年層であつたことは疑ふ餘地もない、また假に損耗人員が全兵員の三割であつたとすればこの間における抗戰兵員は實に二千五百萬にも上るわけで、その膨大さに驚嘆すると同時に支那農民に課された餘りにも大きな負擔に唖然たらざるを得ない、しかも支那農民に課された負擔は單にこれだけに止まるものでない、それはすなはち支那抗戰費の出所なのである、抗戰奧地農村の生產力の向上は巨大な戰費捻出の一端であり奧地農村の生產力の向上は巨大な戰費捻出の一端であり、抗戰奧地農產物は米七億元、ピクル（一ピクル五元、事變前）卅五億元その他の農產物は米の約八割として廿八億元、さらに手工業生產物において十億元として合計七十三億元となる

このうち事變前における支那政府の租稅收入は中央稅および地方稅を合せて約六億元、地主所得は農產物總收入の六十三億元の約二割として十二億六千萬元また商工業の資本の利得を商工業生產額の二割とすれば二億元となるが、これに奧地二億農民の負債が四十億元（一人二億元）であり、そのうち六割が負債農家であるとすれば二十四億の負債となり、さらにその利子を高利三割とすれば七億餘萬元を高利貸に提供すべきこととなる、かくて以上の合計約廿七億元がその他抗日政權の剩餘價値生產として年々生れ出てくることになる、勿論これは極めて大まかな計算であるが、この金額と大同小異の金額を農民は平時においてさへ負擔してゐる

重慶政權の戰費年豫算が二十五億元前後（中外經濟拔萃、中國二十八年特輯の數字）とすればこの戰費は剩餘價値生產の殆ど總てだといはねばならない、そして二十五億の戰費は總收入の三分の一に當つて年々の戰費總額が剩餘價値に對象を求めず農民負擔に轉嫁されれば戰前既に飢死線上にあつた農民の大多數は全く生活不可能といはねばならない、かゝる戰費捻出に頭腦の重點が米英などの外力に依存したことは當然であるとしても最後の命の綱とも恃むビルマルートを完全に遮斷された今日戰費と抗戰物を一體何處に求めるのか、當面する奧地建設と新兵力の消耗を補塡する新兵力の編成が進めば益々貧困化する農民の負擔の問進は益々深刻化せざるを得ない

覺醒こそ興亞の礎石

かくて抗戰とは奧地二億の民を加へて積極的に窮乏し盡し自國民を骨の髓まで搾取することであつた、生活とは彼らに賦命を繫ぎ生き永らへることに外ならない、かかる方策を最高方策とする奧地政權が支那四千年舊慣の民に唯一のものは國民の更生ではなく餓死への生活切下げであつた、しかも工業生產品と農產物との價格差の急激に乖離する點條件下に農民は四苦八苦の中に沈淪し、封建的生活は日毎に古代生活の段階にまで追込まれてゐるといふ憐むべき奧地生活に逆比例して南京政權治下二億の民は日毎に進む建設に總力を擧げて四千年の歷史と『地大物博』の民族の誤りを取戻さんとしてゐる

淸鄉工作は昨年七月以來、展開され第一、二、三期工作とともに順調な發展を示し明るい希望の建設は逞しく進んでゐる、同一領土內の同一民族がかゝる對照的な生活を求めてゐてその後に結實するものは果して何か、この矛盾は內面的にも外面的にも早急に解決されねばならぬ四億の民の年々の增加率はもとより知る術もないが、しかしそれが泰國における一千人につき約三人強の增加率と略々等しきを呈するであらうことは推斷するに難くないとすれば急速に展開する大東亞共榮圈內十億の民の中に支那民族が占める地位が如何に偉大であり强力であるかが理解される、支那事變勃發五周年に今更痛切に支那民族の覺醒が望まれる時はない、同一民族の華僑は今米英依存の幻想から醒めマレーに、ジャバにスマトラに毅然建設の一翼を擔つてゐる、華僑は自己防衛民族發展の見地から厚生施設まで自己の力で經營し自己の生成に邁進してゐる、抗戰の夢遊病に取り憑かれた奧地政權に殘された望みはまづ大東亞圈確立に直接に參與することであり、その後に來るべきものこそ新中國の建設であり支那本土の近代化である、かつてありし水戰にまで二億の民を引上げ孫文の三民主義人口問題を解決し條件の下に立つ能で抗戰をか奧地二億の民亞建設に進じ

新課長に三橋氏

【東京電話】今回の內閣人事課新設に伴ふ人事は二日左の如く決定し即日發令した

命內閣官房人事課長兼內閣官房總務課勤務　內閣書記官　三橋則雄

命內閣官房人事課兼內閣官房總務課勤務　內閣書記官　澁江操一

命內閣官房人事課勤務　內閣書記官　岩倉規夫

命內閣官房人事課勤務　內閣理事官　森省三

ビルマ行政機關設立準備委員追加

【ラングーン一日同盟】ビルマ行政機關設立準備委員會に今回左の三名が追加されることとなり一日軍政部において飯田ビルマ方面陸軍最高指揮官より辭令が交付された、これをもつて委員數はバーモ博士以下十一名となつた

ウ・バー・ウン氏（前ラングーン市長）ウ・トン氏（反英敎師團主）、タキン・ヌ（タキン黨員、學生理事）

外交官船着米

【リスボン一日同盟】ロイター通信ジャージー市（ニュージャージー州）來電によれば外交官船グリップスホルム號は獨伊ならびにドイツ軍占領地から引揚げて來た米外交官その他八百名を乘せて一日同地に到着した

北南面

クリミヤ半島の要衝セバストポリが遂に陷落した、この地の失陷がソ聯にとつて黑海の制海權喪失を意味し獨逸にとつて作戰の恰好の足場を得たことは勿論のこと、セバストポリ要塞戰こそは一冬を越した獨ソ戰再展開後最も大きな激戰であつたと解される、獨ソ共にこの一冬、專ら本格戰に備へて、作戰を兵器を再檢討し、兵力を補充してゐたのだから、このセバストポリ要塞の攻防戰は兩國の試金石であつたと見て差支へない、從つてソ聯が後退し獨逸が勝利したといふ結果をも齎した決戰こそは、將來の獨ソ戰を暗示するものだらう

京城版

遺家族、傷痍軍人に安らかな"憩ひの家"
母子傷痍軍人寮(假稱)を建設

事變記念日を迎へて新たに銃後の結束を痛感すると共に戰歿者遺家族、傷痍軍人の取扱ひについて一般府民の關心は特に深められて來つゝあるが、現在の援護施設の方面では未だ充分とはいひ難く京城府の施設としては現在新設町に二十戸から成る『軍人家族村』があり、その後の要望に應へて總工事進捗中の『明水台軍人家族住宅』八月も八月中には竣工し、それぞれ遺家族を收容の運びに至つてゐるが、この他婦人會經營の施設として端穗町の『端保興母子寮』及び明治町の『愛國寮』等があり夫々銃後援護の實を擧げてゐるが

最近大東亞戰の戰果擴大と共に入所希望者は激增の一途を辿つてゐるので府軍事援護係ではなるべく多數の希望を入れて安らかな"憩ひの家"を興へようと對策を進めてゐたところ近く傷痍軍人の獨身者と遺家族母子とを對象とした『母子傷痍軍人寮』(假稱)の建設に着手することとなつた

京城府では既に本府當局に申請の手續きをとつたがこれは總工費十萬円程度の建物で施設の完備を期し目下適當な敷地を物色中であり、これが實現の曉は住宅難をかこつ遺家族、傷痍軍人にとつて大きい福音となるものである

ことゝなつてゐるが、これには十六萬円の豫算を以て三ケ月間に終了する豫定を樹てすさまじい東部の發展に協力することゝなつた

本社へ國防獻金を寄託　京城東亞工科學院生徒一同は平素勤勞奉仕で得た金十円を『僅かですが國防獻金して下さい』と二日本社へ寄託した

臨時人口調査事務打合會　西部第六區町會で一は二日午後八時から玉川町京城神學校講堂に町聯盟評議員、區長、班長、指導員が參集して臨時人口調査事務ほか二件に關する打合會を行つた

なほ竹添町會では三日午後八時から同町會集會所で行ふ

不正申告防止に班内人口の再調査
昌信町會が乘り出す

米の二重貰ひがあつてはならないことだ……と昌信町會では二日午前九時から昌信國民學校講堂に區長廿四名を集めて町内人口の精密調査について打合せを遂げたが、更に四日午前九時には町會事務員を集めて昌城總代を中心に配給米の不正申告防止方法について眞摯な意見交換を行ひ二重配給を受けつゝある不良居住者には警察と協力して嚴重な警告を發することゝなつた

なほこの實行に關しては飽までも班を單位として班長を監視に當らせ不良申告者に對しては班長にも一端の責任を負はせて街の廓正を圖ることゝなつた

米　は國家に對して相濟まないことだ

赤誠の獻金
本町署へ　二日本町署を通じて次のやうに赤誠の國防獻金が寄せられた

▲百円、府內匿名氏▲百五十円、水標町四九東洋拳鬪會▲百円、本町四ノ一三五水野發太郎さん▲百円、旭町一ノ三〇小川文二郎さん▲六十円、櫻井町一ノ五六松浦武男さん▲五十円、花園町一ノ二植村武男さん▲五十円、新町川城館店員一同▲三十円、シゲミ、安子さん▲三十円、櫻井町二ノ一四旭亭今浦達巳▲三十円、黃金町二ノ三三横山保さん▲五十円、黃金町三ノ三四四我妻榮五郎さん▲二十円、大日本相撲協會米野保さん▲三十四円、本町四ノ三六佐伯鐵太郎さん▲二十円、本町四ノ一三三稲井ナツさん▲十五円、太平通一ノ一七烏山澄洋さん▲十五円、黃金町二ノ一九九木下雅夫さん▲二円、並木町二一八大倉常廣さん▲債券四枚(四円)匿名氏

遺族へ診療奉仕

街の慰問袋

個人經營の醫院では無料診療といふのは仲々難しいらしい、『那須賀醫院』ではこの節だものやらなければと軍人遺家族へ無料診療を奉仕してゐる、奉仕日たる火曜、木曜には相當數の患者がつゝましく控へて順番を待つ風景は毎度のこと、昔のやうに無料や實費ではコケンに關はるといつたやうな偏見は蹴を絶つて『お醫者さんまで御奉仕下さるとは誠に御奇特なことぢや……』とお爺さん、お婆さんはこの節の時世に感激の杖を引いて醫院の門をくぐります、經營者棚原博氏の意をくんだ金本院長は遺家族だけは眞劍にお護りして前線の勇士へ安心を與へることは私共の務めですと經營の苦心と歡びを語りました

永登浦乘入れは來春着工か
京電の豫算會議終了

京城電氣の十八年度豫算會議は去る六月廿四日から四日間に亘つて同本社で行はれたが、十八年度の新規豫算中直接京城府民の足に影響する運輸問題に關しては次のやうな事項が明かとされた

新車輛の充實は足の緩和を圖る上にも必要なことでもあり來年度には新しくボギー車廿四輛を設計することとなつたが、十五年度以後の計畫になる廿五台の增車がまだ未納分を殘してゐるといふ點で來年度は、これと合せて相當數の車輛が入荷するものと豫想され十八年度からはいよいよ待望の幹線ボギー主義が完成されることとなつた

また永登浦延長工事については今回の豫算中には含まれなかつたが、大體において番大方町までの延長は可能であり、この敷設に必要な變電所用器材を整へることを先決問題として着工の時期が定まることとなつてゐるが先を急ぐとしても來春までは工事を控へることとなつてゐる

なほ南大門地下道完成後における路線復舊作業は徹に對處に策する運前はとつてゐるが多少の變更は見る模樣で作業期間も一ケ月といふスピード工事で進む豫定だが、これも年內には完成する、これに要する豫算は四萬八千円、その他現在京城府が行つてゐる東大門から東廟までの道路擴張工事について必然起つてくる電車路線一キロ五四〇の移設工事は當分道路完成期の見透しがつくまでは保留する

各家庭へ乾パン
とつておきの『防衞食』配給

お米の消費節約を圖るため京畿道では一日から家庭への米の配給數量を減じその補給に代用食として乾麵を配給することになつたが、更にオマケの意味で二、三日中に各家庭へ乾パン(乾麵麭)一個宛を配給することになつた

この乾パンは京畿道が非常時用の防衞食として貯藏してあつた取つておきのもので型は森永で以前販賣してゐた乾パンと同型

配給方法は愛國班に豫め購入票を渡し、その購入票によつて最寄りの菓子屋へ行けば何時でも品物が買へることになつてゐるなほこの乾パンは代用食として配給される乾麵とは關係なく從つて米の配給數量には何等影響しないつまり餘分の配給であつて發育盛りの子供を持つ家庭にとつては多少腹の足しにならうといふもの

タクシー中に大金
落し主不明の千三百圓

これは大金千三百円を乘つたタクシーに置き忘れたまゝ未だに屆出でがないといふ至極呑氣な話――二日朝昌信町京城交通會社車庫内で運轉手茂山實秀君が自己の使用車『京九〇七五』を掃除中、客席の裏から二つ折の皮財布が出て來たので中を調べてみると各種の兌換券取り交ぜで大枚千三百円が出てきたので、びつくりした茂山君は直ちに東大門署へ屆け出たが署では財布中にあつた東京旭東商會吉田某の名刺と東京、濟州間の二等乘車券を手懸りに早速遺失主を搜すことゝなつた

何れも公定違反
街頭の野菜業者へ斷

本町署　本町署經濟係では去る一日から草野主任以下總動員で管內市場附近や街頭などを横行する野菜業者をしらみつぶしに調査したところ大部分の行商人は公定價格の違反容疑者で、同署では府内櫻井町二丁目櫻井市場(管理者京城不動產會社)内に野菜業を營む林泰鐵(三)同瀨戸雲(三)を一日恩賀業者として検擧した

林は馬鈴薯公定價百匁七錢を十錢の割で七百匁を販賣、超價格廿一錢を取得、同じく盧は白瓜百匁七錢のものを廿錢の暴利で賣付け二百四十匁で超價格廿一錢を受け取つたもので何れも科料十円を申渡すと同時に即日營業者から立退きを食ひ營業取消しといふ嚴罰を食つた

引つゞき一日には草野經濟主任は容疑者四百名を本町署に呼び出し經濟廓正の嚴重な訓示を與へて取らせた

"幼き魂"を團體訓練
又新國民學校の構へ

大東亞戰下初の夏休みを控へて銃後の最前線を承る工都！永登浦の又新國民學校の夏の鍛錬陣を覗いてみよう……

『私が昭和十二年四月赴任して眞ツ先に感じたのは當地は工場地帶で種々雜多の工場に通ふ家庭の子弟が多く各々その環境が異るため精神的にも肉體的にも面白くない點が多かつたので體育奬勵によつて、その心身の錬磨を圖るべく體操を初め武道、遊戯、競技等に非常なる努力を拂ひ毎年四月から十月までの間には裸體々操を行ふと共に毎日晝食後に十五分づゝ正しき『正常歩』を勵行し目ぢやないが兒童の健康については常に當局のお賞めに預つてゐる状態で敢て他にヒケは取つてゐない積りです、ところがこの『正常歩』を熱心にやるにつれて歩調を取つて行くので、これを補ふと同時に團體訓練と學校一致の精神を養ふため毎週一回水曜日の晝食後に分列行進を行つてゐたのですが、これが偶々國民學校になつて團體訓練が正科に取り入れられるやうになり、その先鞭をつけたわけです』

と湯淺校長は我が意を得た喜びに双頬を輝かせながら『丁度いま分列式をやる時間ですが……』と記者を誘つて運動場に出かけた、點場には赤紫白の"くろがね部隊"の歌がかんかんと照りつける運動場に意氣よく整列してゐる壯觀さは流石興隆日本の象徴そのもので見るからに頼もしき極みであつた

高等科男子總員五十名、事故何名、缺席何名、現在員何名、喇叭隊十八人、以上報告終り……と松田中隊長が黃い聲を張りあげての人員報告……それに續いて女子三年の平山中隊長も銃後乙女の意氣を示して男子中隊長に負けじと元氣溌剌たる人員報告があり次々と各中隊長の報告を了へ喇叭隊の『君が代』の吹奏裡に全員感激に國旗に對し恭しく敬禮し學校一體感謝を奮つて"總監"湯淺校長の親閲を了へて歩武堂々莊嚴なる分列式を行ふ情況は陸軍幼年學校さながらの軍國擴巻で、これこそ同校卅四學級、二千五百の全兒童の"幼き魂"に國民精神と體力を錬成する國民學校の姿である

【寫眞＝分列式の壯觀】

皇軍の武運長久を祈願
僧伽寺で擧行

事變記念日　三角山僧伽寺では住持米山茂氏の音頭とりで昨年の五月一日から聖戰目的完遂を祈願するため『大東亞建設、武運長久、千日觀音祈禱法會』を開催、信徒一同は毎日祈願念佛を唱へて皇國の興隆を祈つてきたが更に支那事變第五周年記念日の七日には戰歿將兵の英靈を慰め皇軍の武運長久を祈るため同寺院内で皇軍に對し感謝の祈禱を捧げることになつた

天晴れ日本軍人を目指しての逞しい訓練である

夏の鍛錬にも、この訓練が第一に取りあげられるほか毎朝各學友會別に行はれるラジオ體操、全校耐暑遠足、理科部員の野營、博物採集、相撲、水邊聚落、林間聚落、勤勞報國隊の奉仕作業等々の聯り分心身の鍛錬を圖り興亞建設戰士の育成に完璧を期する習で、斯くして次代の日本を背負ふ興亞戰士はすくすくと育くまれてゆくのだ

全生徒に勤勞作業
暑休中の構へ

城大豫科　城大豫科では來る廿一日からの夏季休暇に備へて豫科流の學生錬成を試みるため各種の計畫をすゝめてゐるが、先づ勤勞を第一義として廿一日から十日間を勤勞作業日と決定全生徒を道場に合宿させて毎朝五時に起床させ道場内で精神修養を行はせた上終日學校內外の清掃に當らせて整理、整頓に對する正しい理解を植ゑつけることとなつた

模範愛國班
火事場でお手柄

一日午後二時ごろ漢城町一三四梁本德太郎氏方から發火、折柄の烈風に煽られ火は忽ち隣家に延燒せんとしたが、折よく同班長山本相基さんが發見『火事だ!』と大聲揚げて近隣に觸れ廻つたので"日ごろの訓練を見せるのはこの時"とばかり直ちに全班員が現場に馳けつけて消し止め附近の人々から賞讃されてゐる

麻浦國民學校後援會總會　麻浦國民學校後援會では二日午後二時から同校講堂で後援會總會を開催した

禁製品を密賣

全北生れ住居不定裵實德(三)といふ行商女は二日午後鍾路町七八の街頭で禁販品の中に取交ぜて銀製簪數本のほか同じく銀製の指環、耳搔き等十數箇を密賣してゐたところを東大門署員に發見され七・七禁令違反として現場から連行された

係官の取調べによれば同女は昨年暮郷里からボロ儲けを目的に來城、府内某所で密造中の銀製品を仕入れて不正利得を占めてゐたもので目下係員がその出所を嚴重追及中

お天氣詐欺
師四名檢擧

全北扶安生れ旭町生れ前科八犯柳明順(三)は同類の崔正龍(三)ほか二名を手先に使つてお天氣詐欺團を作り一日正午ごろ京城驛構內で慶北慶山郡金本鍾漢さん(三)から二千二百円を騙取したのを西大門署の元村刑事が發見犯人四名を逮捕した

愛の赤道 【142】
竹田敏彦 作
鄒竹伸一 畫

暗に射す影 (七)

手紙は、更に續いて――

……尚、以上の諸條件については、既に小生より兩親、並に輔兒にも、萬端の事情を告白し大體承認を得てをります。もし幸ひに御承服くだされば、各日を一そう細密に具體的決定上、直に手續を完了します。何でせう。何れにしましても、生は、命令一下、近く身を捨て征途に赴く譯ですから、一日も早くお取決めを願ひ、安心して出發したく存じます。

要するに、右諸條件は、小生の死を計算に入れてありますが、結婚のことは取決めず、只、胎兒の爲に、小生は分家して、産も讓り受け、胎兒をその嗣子として、相續を決定する……

物價停止令關係 申請簡易化

直接、本府へ提出のこと

大東亞戰下官廳事務の簡捷化を圖つて企劃部物價調査課では從來九・一八、八・二一の物價停止令關係申請書類の提出を道警察部であつたものを直接總督府へ提出することに手續を改め次の如く當局談の形式で周知を期した

支那事變勃發後わが國戰時經濟の円滑なる運行を圖るため政府は低物價政策の強行を決意し昭和十四年九月十九日の閣議決定に基き所謂九・一八停止令を公布したことは皆さん既に御承知の通りでありますが漸次段々の改正を加へ現在におきましては九・一八停止令は同時に八・一一停止令となり又その施行期間に付ての制限も撤廢せられたのであります、翻つて考へまするに大東亞戰爭の進展に伴ふ戰果の擴大はそれに伴ふ戰後經濟を促進すること急でありまして、これに伴ひまして官廳事務も複雜多化を極めると同時に民間の方々の活動の必要程度も益々加重して來たのであります、從つて從來は所謂九・一八停止令或は八・一一停止令の協定に依り列外許可、協定價格類の指示等の申請書は凡て道知事を經由して本府に提出することになつて居りましたが今後は事務に支障を來さざる限度において官、民双方の便宜を圖り事務の簡捷を期する爲本府に提出する前述の各種申請書は道廳を經由せずして直接本府に提出して戴くことに去る六月六日附、府令第百六十號を以て發布されましたからどうぞ我々の意ある處を汲まれまして此の點よく御了解の上申請書類は凡て直接本府に提出して戴きたいと思ひます、然しながら直接皆さんと接觸する道廳に於てどんな申請があつてどんな許可があつたやら全然關知しないと云ふ様な不合理があつても困りますので申請される場合には申請書の爲の一部を道廳に提出され本府に於ては處分の結果を其の都度道廳に連絡するやうにしたいと思ひますから此の點も併せて御了解願ひたいのであります、尚特に申添へて置きたいことは申請書類の樣式等に付きましては提出前道廳なり本府なりに充分連絡し樣式や記載事項不備等のないやう協力して頂きたいことであります、從來樣式や記載事項不備等の爲返戻したり再提出を求めたりして迅速なるべき處分が其の爲却つて遲れる結果になりお互に迷惑を蒙る樣な事例がありましたので此點將來特に注意して頂き度いのであります

エル・アラメイン突入 最後の要塞線猛攻

亞港まで僅か卅里

埃及戰線

【ローマ一日同盟至急報】エジプト攻略目指して一路アレキサンドリヤ街道を猛進中の獨伊軍快速挺身隊は、三十日エル・ダバを突破後さらに進撃を續け一日午前早くもアラブ灣岸の要衝エル・アラメインに突入した、アレキサンドリヤまで剩すところわづかに百二十キロ戰局はいよ〳〵最後の段階に入らんとしてゐる

【ベルリン一日同盟】獨軍司令部發表＝エジプト進擊の獨伊聯合軍はエル・ダバを突破後、さらに東方に進擊を續け一日アレキサンドリヤ防衞のイギリス軍最後の要塞線エル・アラメインに到達目下同地區のイギリス軍に猛攻を加へてゐる

英艦隊、亞港を脫出

【ベルリン一日同盟】デー・エヌ・ベー通信によれば、獨伊軍の進擊に重大脅威を感じた東地中海のイギリス艦隊はマルサ・マトルー陷落直後敢行された獨伊空軍のアレキサンドリヤ攻擊に際ひ上り廿九日つひに軍港に耐へかねてその根據地を脫出したといはれる

要望された固定資產 原價償却方法統一

一日、情報局より發表さる

【東京電話】第四回財務諸準則統一協議會はさる六月二十三日企劃院において開催

一、固定資產原價償却準則および固定資產耐用年數改正表

一、製鐵業、工作機械製造工業、鑛具製造工業、自動車製造工業および自動車々體製造工業の各原價計算準則

が附議決定されたので、三十日の閣議において賀屋藏相より固定資產原價償却準則および固定資產耐用年數改正表決定の趣旨を報告決定し、一日午後四時十分情報局より次の如く發表された

情報局發表

企劃院において開催されたる第四回財務諸準則統一協議會に固定資產原價償却準則、同耐用年數改正表、製鐵業原價計算準則、工作機械製造工業原價計算準則、鑛具製造工業原價計算準則、自動車製造工業原價計算準則ならびに自動車々體製造工業原價計算準則が附議決定された、右の内固定資產耐用年數改正表は原價計算經理統制および稅務計算の三者を通じ固定資產原價償却につき共通的に適用せらるゝものにして、從來固定資產の原價償却方法の統一が強く要望せられ來りたるところ今回の決定によりこれが實現を見るに至つた、製鐵業以下の業種別原價計算準則は先般公布せる原價計算規則第二條により告示せらるゝ豫定である

資本額增加

五月中會社異動

京城商議調査＝五月中の鮮内會社異動狀況は新設卅四社、增資廿三社、拂込六社、減資三社、解散十九社にして月末現在の會社數は六千三百十四社これが公稱資本廿五億四千百七十四萬五千円、拂込資本は十九億四千百廿一萬七千円に達した

これを前月末現在に比すれば公稱資本千三百五萬円、拂込資本千九百卅九萬二千円のそれぞれ增加を示し、大東亞戰爭下半島經濟界の依然たる躍進ぶりを如實に反映してゐる、なほ支店數は三百十七社にして前月末に比し十二社を增加してゐる

殆ど完全消化

上半期の公債

【東京電話】本年度における新規公債發行豫定額は百七十億の巨額に上り政府はこれが消化に萬全を期してゐるが、一日日銀發表の今年上半期公債消化狀況によれば『同期中における公債發行總額六十五億二千百萬円に對し消化總額は六十四億八千百萬円に達し消化率九九、三%と前年同期日九七、二%を上廻りほとんど完全消化の實績を收めるに至つたが、本年上半期においては政府支拂な順調をみるに反し資金需要方面には目立つたものもなく大藏期中を通じ金融市場では終始緩慢を持續したゝめ、金融機關は餘裕資金を擧げて公債消化に振向けこの好成績を具現したもので今期における公債消化も引きつゞき順調を期待される』なほ本年第二、四半期(四月―六月)における公債消化狀況も發行總額卅五億三千萬円に對し、消化總額卅三億九千百萬円消化率九六%を示し前年同期の九五%を超過した、詳細左の通り(單位百萬円)(△印日銀賣戻し)

	上半期中	前年同期	四月―六月	前年同期
發行高	六、五二一	三、五八二	三、五三〇	二、〇〇〇
消化率	九九・三%	九七・二%	九六%	九五%
消化の内譯は左の通り				
市中賣却	四、〇九二	一、三八六	二、六八九	一、六六五
官廳筋賣却	四二七	八〇	△一一三	△二二〇
郵便局賣出	四一〇	二二五	一六六	一〇六
預金部引受	一、五五〇	七九〇	六五〇	三五〇

管理統制量は百十萬石

本年產の大麥及び裸麥

本年產大麥、裸麥の總督府管理統制量は合計百十萬石と決定、これを各道に内示した、本年度買上麥總量は前年度百廿萬石に比し十萬石の減で軍用、咸南北道向けに止めたものである

その趣旨は極力生產者の自家消費に振向けることを企圖したところにある、これが買上販賣の機關は米穀市場會社を通ずることとなつた

中央無盡八分据置

朝鮮中央無盡では來る三十一日同社に定時株主總會を開き、當期利益金處分案ならびに任期滿了の監査役河口彌七、南波弥一兩氏改選の件を附議するが、配當は年八分据置に内定

けふの市況

株式 紡績株高に追隨

前場 國際情勢は日に日に聯合國側に不利であり愈々わが產業界の將來は大發展が約束されてゐるので市場人氣は突込み警戒となり、新東百卅六円五、七十錢揚み、新鐘百円四十錢、高周波五十一円五十錢とあと二円毫へ擡げてそれぞれ二、四十錢方引締めて強保合ひを示した

後場(不變)積極的な商内は見送られてゐるため、場面は活氣に乏しいが、押目は買氣はれてゐた、寄付きは新百三十七円丁と新鐘百円四十錢とそれ〴〵變らず その他は商内出來不申が多く閑散を示した

照明彈

市場の動きはだん〳〵機械的となり常軌を逸したいはゆる人氣的な上げ下げは見られなくなつた▲それは一般の投資が採算本位に逸脱してないからであらう▲株式の投機化は必然的にその反動を誘致するもので、その投機化は斷に戒しめねばならぬ▲その點政府の株價對策は成功したといつてよく、今後も監視の眼を避けてはならない▲然らば今後果して無相場であらうか▲株價抑制が行はれる今日、最早これ以上の高値は望めぬだらうか▲そこには實力、買方の立場によつて自ら見解の喰違ひがあるとしても、大東亞戰の輝かしい大戰果に伴つてわが產業界の大發展を想像すれば、頭から弱氣になつてゐるものは誰だつてゐない▲從つて押したところは買ふほか手はなく、必ず強氣が勝利を占むるであらう

〝實物〟頑健

整理乘替へによつて押したところは再び買直されて諸株とも頑健な足取りを示した、目先も特殊な事情のない限りジリ〳〵買進まれるものと豫想され、相場は穩健そのものであつた、主なる出來値左の如し

南電太〇、三三▲京春鐵二五、五▲漢電一九、五(權利落)▲朝鮮理研三四、〇―四、三▲マグネ四八、五▲小林五五、〇―五、五

株式(一日)

朝取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
弘中 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	代引
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
弘中	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期 / 大株短期 / 大株短期喰合 / 東株長期 / 東株短期 / 東株短期喰合 / 商品(一日) / 鮮米期米(一日): [illegible]

三國志 【843】

赤壁の巻

吉川英治(作) 矢野橋村(畫)

金雁橋(四)

――なぜならば、孔明の四輪車を囲んでゐる兵は、みな弱さうな老兵であり、その他の兵もみなぶよぶよに肥えて、見るからに脆弱な士卒ばかりだつたからである。

『いやはや、目前に見る孔明と、かねて耳に聞いてゐた孔明とは、大きなちがひである。用兵神妙、孫子以來の人だなどと、取沙汰されてをるが、あの陣容とあの兵氣は何事か。芥の山を踏むより易いぞ。蹴ちらせ、あの塵芥を』

張任の一令に、なほ背後にのこつてゐた數千の兵は、どつと喚きかゝつて行つた。

四輪車は逃げだした、右往左往のていで。

『車上の片輪者待て』

手づかみにして、生捕ることも易しと、張任は鞭を打つてとびこみ、雜兵には目もくれず、あはや車轅のうへから巨腕をのばさうとしかけた。

『捕つたツ』

それは足もとの聲だつた。何事ぞ、いきなり下から馬の脚を攫いで引つくり返した猛卒がゐる。づでんと、見事な落馬だつた。たちまち、又ひとりが跳びかゝる、これも雜兵にしては愕くべき怪力の持主だつた。

それもそのはず、この二人は、雜兵の中にかくれてゐた魏延と張飛だつた。

破壞したと見せた金雁橋も、實は完全破壞はしてゐなかつた。張任があきらめて、上流の支川へ避け淺瀬を渉つて城のほうへ迂回したと見るや、蘆茅の中にゐた全軍は、四輪車をつつんで對岸へ越え、こゝに先廻りして待つてゐたものだ。

山地へ谷間へ逃げこんだ蜀兵もあらまし討たれるか降伏した。その中には、つい前日成都から援軍に來たばかりの卓膺といふ大將なども交つてゐた。

張飛、黃忠、魏延などの諸隊も各々、功をあげて、こゝに聯絡して來た。開いた花のつぼむやうに、總勢一軍となつた後の陣容行軍は、いかにも鮮かだつた。

『あゝ、蜀の亡まる日は來た』

捕虜として檻送されてゆく途中張任は天を仰いで長嘆してゐた。

涪城について後、玄德が、『蜀の諸將はみな降つた。貴公ひとり降伏せぬ法もなからう』

と、いふと張任は、

『不肖ながら、自ら蜀の忠臣を以て任ずるものである。豈、二君にまみえよう』

と、昂然と拒んだ。

玄德はその人物を惜んで、いろいろ說いたが、どうしても肯かない。たゞ、聲をはげまして、

『疾く首を打て』

と、いふのみである。

孔明は見るに見かねて、

『强いて節を曲げさせるのは、眞の忠臣を遇する禮でありません。その忠節を完うさせておやりなさい』

と、玄德にすゝめた。

すなはち、張任の首を斬り、その屍を收めて、金雁橋のかたはらに、一基の忠魂碑をたてゝやつた。

涙雁群れて、夜々、碑をめぐつて啼いた。

かくて雒城は、本格的な包圍の中に置かれた。

降參の大將、吳蘭、嚴顏の輩が陣前に出て、城中の者へ說いた。

『無益な籠城は、いたづらに城内の民を苦しめるばかりであらう。我等すら降つたものを、汝等の手で如何とする氣か。犬死すな』

すると、矢倉の上に、一將の劉璝があらはれて

『蜀の恩顧をわすれた人間共が何をいふか』

と、罵つた。

途端に彼は矢倉の窓から下へ蹴落されてゐた。何者かゞ後から彼の腰を突いたものとみえる。同時に、城門は内から開いた。

忽ち、城頭に、玄德の旗がひるがへつた。城中の者、殆ど七割まで、降伏した。

劉璋の嫡子劉循は、この急變におどろいて、北門の一方からわづかな兵と共に、取る物もとりあへず、逃げ出してゐた。一目散、成都をさして。

『劉璝を矢倉から蹴落したものはたれか』

占領後、玄德がたゞすと、

『――武陽の人張翼、字を伯恭といふものです』

と、侍側から申達した。

すなはち謁を與へて、玄德は、張翼を重く賞した。

新刊紹介

▲帝國憲法と金子伯(藤井新一著) 帝國憲法制定の由來とその運用を主眼とし、それとの關聯において、起草者の一人たる金子堅太郎伯の政治的生活を述べてある、著者は早大教授、嘗に英文、獨文並に伊太利文を以て帝國憲法論を著はし、歐米人に帝國憲法の精髓を紹介した人、本書は帝國憲法論の姉妹篇である(六円五十錢、東京小石川・音羽町三丁目一九、大日本雄辯會講談社)